八代市デジタル化推進基本計画アクションプラン

令和6年2月19日更新

公表用

※予算が確約されていない取組みも含まれており、内容については変更の可能性があります。

各事業の中でも短期的・重点的に取り組む事業

デジタル田園都市国家構想交付金事業のデジタル実装タイプ（デジタルを活用した地域の課題解決や魅力向上の実現に向け、事業立ち上げに必要なハード／ソフト 経費を支援）に採択を受けた事業。※従来のデジタル田園都市国構想推進交付金事業も含む。

地方創生推進交付金（地方の人口減少に歯止めをかけ、人口の東京一極集中を是正し、日本全体の活力を上げることを目的とする）に採択を受けた事業。

No	分野	施策名	重点	デジ田	地方創生	具体的な取組	取組概要	スケジュール			
								R4	R5	R6	R7
1	防災	住民の自発的な避難を後押しする「デジタル避難スイッチ」の導入	★			「デジタル避難スイッチ」の導入	個人に応じた情報提供による避難の促進と、避難状況の把握・共有を目的としたアプリを開発します。平時から避難のタイミング（基準）や避難場所を選定するなどの避難行動計画の作成を支援し、災害時には、気象関連情報に基づき、自らが設定した避難タイミングをプッシュ型通知でお知らせします。併せて近隣の避難状況も確認できるなど、様々な面から避難行動を支援します。	△：調査、検討、準備	△：調査、検討、準備	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進
2	防災		★			災害関連情報の集約サイトの構築	自分事化しづらい避難情報や気象関連情報等を集約し、個人や地域ごとに最適な災害関連情報を閲覧できるサイトを構築します。災害前には、ハザードマップ、気象情報や河川状況、土壌水量の状況などを提供し、災害時には周囲の避難状況、道路状況などの被害関連情報も提供するなど、住民の避難行動を支援します。	△：調査、検討、準備	△：調査、検討、準備	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進
3	防災	準天頂衛星等を活用した安否確認システムの導入	★			「Ｑ－ＡＮＰＩ」実証実験	衛星安否確認サービス（Q-ANPI）を災害時に孤立が想定される地域（避難所）や各支所に配備し、避難所運営職員への機器操作方法を訓練し、安否確認手段としての有効性を検証します。	○：一部実施、試行	○：一部実施、試行	○：一部実施、試行	○：一部実施、試行
4	防災		★			電源ユニットを活用した通信機器の運用	電源供給が必要な「衛星安否確認サービス（Q-ANPI）」や「衛星携帯電話」の配備にあたり、配備先の条件に則した最適な電源供給体制を構築するため、電源ユニット（Re-Q）や蓄電池等による給電の実証を行います。	○：一部実施、試行	○：一部実施、試行	○：一部実施、試行	○：一部実施、試行
5	防災	災害情報共有システムの構築	★			災害関連情報等をリアルタイムに表示できるシステムの構築	令和３年度に導入した「災害時支援システム」を介して災害情報（救出救助情報・道路情報等）を消防や警察、自衛隊等の防災関係機関とリアルタイムに共有するため、システム設定を行います。	△：調査、検討、準備	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進	⇒：達成後継続推進
6	防災	スマート避難所の導入	★	◆		避難所生活の質の向上と、運営要員の削減を目的とした仕組みの導入	ＬＩＮＥの登録やQRコードを活用し、避難者への迅速な情報提供と支援者側への横断的な情報共有を目的とした双方ともに手間が少ない「スマート避難所システム」を構築します。また、市が主催するイベントや各種講座等の申込み・受付管理が行える機能も実装することで、平常時にも活用できるシステム構成とします。	△：調査、検討、準備	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進	⇒：達成後継続推進
7	市民サービス	マイナンバーカード申請手続の利便性向上	★			マイナンバーカードのオンライン申請専用タブレットの導入	専用のタブレット端末を使用し、顔写真の撮影からオンライン申請までワンストップで行うものです。	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進	⇒：達成後継続推進	⇒：達成後継続推進
8	市民サービス	マイナンバーカードを活用したオンライン申請システムの導入	★			マイナンバーカードを活用したオンライン申請システムの導入	住民票、印鑑証明書等の申請手続をスマートフォン（インターネット）により行うことができるオンライン申請システムを導入します。	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進	⇒：達成後継続推進	⇒：達成後継続推進
9	市民サービス	公共施設のオンライン予約管理システムの導入	★			公共施設のオンライン予約管理システムの導入	各コミュニティセンターや学校体育施設等、公共施設の予約や空き状況の確認、オンライン決済が２４時間使用できるオンライン予約管理システムを導入します。	○：一部実施、試行	○：一部実施、試行	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進
10	市民サービス	各種税や保険料等の支払へのキャッシュレス決済の拡充	★	◆		キャッシュレス決済の導入	オンライン申請、オンライン施設予約などでオンライン決済については導入します。その他、キャッシュレス決済可能な手続きの拡充などに取り組みます。	○：一部実施、試行	○：一部実施、試行	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進
11	市民サービス	公共施設等へのＷｉ-Ｆｉ整備の促進	★			公共施設等へのＷｉ-Ｆｉ整備	公共施設Ｗｉ-Ｆｉ整備事業として、令和5年度は指定避難所となっているコミセン9か所について整備します。その他観光施設等の施設については、必要性等を勘案しながら順次整備を進めます。	○：一部実施、試行	○：一部実施、試行	○：一部実施、試行	◎：実施、達成、終了
12	市民サービス	デジタル機器等の使い方支援				スマホ教室の実施	携帯電話事業者（docomo,au,softbank）と連携した「出張スマホ講座」を各地域において実施します。	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進	⇒：達成後継続推進	⇒：達成後継続推進
13	市民サービス	人にやさしい窓口づくり				AI技術等デジタル技術の活用促進	AI技術等のデジタル技術を窓口業務等に活用し、デジタル化によるメリットを感じていただける窓口づくりを推進します。	△：調査、検討、準備	△：調査、検討、準備	○：一部実施、試行	◎：実施、達成、終了

八代市デジタル化推進基本計画アクションプラン

令和6年2月19日更新

公表用

※予算が確約されていない取組みも含まれており、内容については変更の可能性があります。

各事業の中でも短期的・重点的に取り組む事業

デジタル田園都市国家構想交付金事業のデジタル実装タイプ（デジタルを活用した地域の課題解決や魅力向上の実現に向け、事業立ち上げに必要なハード／ソフト 経費を支援）に採択を受けた事業。※従来のデジタル田園都市国構想推進交付金事業も含む。

地方創生推進交付金（地方の人口減少に歯止めをかけ、人口の東京一極集中を是正し、日本全体の活力を上げることを目的とする）に採択を受けた事業。

No	分野	施策名	重点	デジ田	地方創生	具体的な取組	取組概要	スケジュール			
								R4	R5	R6	R7
14	医療・保健・福祉	デジタル技術等の活用によるスマート医療体制の確立	★		●	医療MaaSの導入	看護師等が遠隔医療機器等を搭載した移動診療車で各地区公民館等を訪問し、患者が診療車に乗り込み、医師がオンラインで医療サービスを提供するモバイルクリニックの実証運行を継続し、その実施状況について検証を行います。	△：調査、検討、準備	○：一部実施、試行	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進
15	医療・保健・福祉	切れ目のない子育て支援のための情報発信の充実				保育所等におけるICTを活用したシステムの導入	園児の様々な情報を記録する園児台帳を電子データで一元管理するほか、園児台帳と連動した保育指導計画や保育日誌などの作成、登降園時間の記録や集計などを自動で行う登降園管理、さらには保育施設と保護者との双方向の連絡等の機能を有する保育システムの導入を推進します。	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進	⇒：達成後継続推進	⇒：達成後継続推進
16	医療・保健・福祉					母子健康手帳アプリ等の導入	乳幼児健診や予防接種等の個々の情報を連携することにより利用者の利便性が向上するため、国の母子健康手帳の電子化やこども政策に関するＤＸ導入等の動向を見ながら、アプリ導入時期や内容等の検討を継続して行います。	△：調査、検討、準備	△：調査、検討、準備	○：一部実施、試行	◎：実施、達成、終了
17	医療・保健・福祉	オンライン相談システムの導入				妊娠・出産・子育てに関するオンライン相談システムの導入	妊娠・出産・子育てに関する訪問相談支援の各事業において、来庁や訪問による面談が難しい方に対し、試行的にオンライン相談での対応を行います。オンライン相談の実施状況等の検証を進め、本格的な実施に向けた検討を行います。	△：調査、検討、準備	○：一部実施、試行	○：一部実施、試行	◎：実施、達成、終了
18	医療・保健・福祉	健康づくりの支援				健康づくり応援ポイントアプリの導入	市民の健康づくりへの取組や各種健診等を受けることでポイントを獲得することができる「健康づくり応援ポイント」をアプリ導入によりデジタル化し、市民の健康に対するきっかけづくりと、自発的で継続した健康づくり活動を支援することで、生活習慣病の予防と健康寿命の延伸をめざします。		△：調査、検討、準備	△：調査、検討、準備	○：一部実施、試行
19	医療・保健・福祉分野	地域における高齢者等の見守り活動の充実				QRコードラベルによる徘徊高齢者等の早期発見	徘徊の恐れのある高齢者にQRコードラベルを身に着けて頂き、発見者がスマートフォンで読み取ることで、家族にメール連絡が届き、早期の保護につながる仕組みを導入します。		◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進	⇒：達成後継続推進
20	農林水産	稼げる農業の構築及び担い手確保に向けたスマート農業推進プロジェクト	★		●	スマート農業推進プロジェクトの実施	本市農業が抱える各分野の課題を抽出、整理し、スマート農業技術やデジタル技術を活用した課題解決を図るため、導入・実証実験を実施し、スマート農業技術等の確立を行います。 早期の現場実装を見据え、キーマンとなる担い手を確保・育成するために、特に若手・女性農業者の人材育成や先進事例調査研究などの支援を行い、スマート農業技術等の理解を浸透させ、技術導入に向けた現場の機運を醸成します。	△：調査、検討、準備	○：一部実施、試行	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進
21	農林水産	スマート林業の推進				植林作業等への大型ドローンの活用	伐採跡の植林に係る苗木やシカ侵入防止柵資材等、現在は人力により運搬を行っていますが、大型ドローンを導入することにより、運搬に係る省力化及び効率化に取り組みます。	△：調査、検討、準備	△：調査、検討、準備	○：一部実施、試行	◎：実施、達成、終了
22	農林水産	スマート水産業の推進			●	広範囲の漁場確認ができるアプリの導入	広範囲に及ぶアサリ等の漁場確認において、これまで、多くの時間と労力を費やしており、確認作業の省力化、効率化が課題となっています。先進事例の調査を行い、導入の可能性について検討し、漁業の労働効率化に取り組みます。	△：調査、検討、準備	△：調査、検討、準備	○：一部実施、試行	◎：実施、達成、終了
23	農林水産	有害鳥獣対策におけるICT機器の導入・促進				携帯電話の通信エリア外における新たな通信システムの構築	労働災害発生リスクの高い林業現場における緊急時の通信手段を確保するため、遠距離通信システムを導入し、携帯電話圏外地域でも位置情報や緊急連絡文字情報を発信できる体制づくりを進めます。	○：一部実施、試行	○：一部実施、試行	○：一部実施、試行	◎：実施、達成、終了
24	農林水産					シカの捕獲作業の効率化を図るためのICT機器の導入	植林した苗木の食害や成木の剥皮被害を与えるシカのワナによる捕獲を行うためICT機器を導入し、見回り負担の軽減や捕獲の効率化を図ります。また、携帯電話圏外地域においてもICT機器が利用できるよう遠距離通信システムを導入し、シカ捕獲範囲の広域化、効率化に取り組みます。	○：一部実施、試行	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進	⇒：達成後継続推進

八代市デジタル化推進基本計画アクションプラン

令和6年2月19日更新

公表用

※予算が確約されていない取組みも含まれており、内容については変更の可能性があります。

各事業の中でも短期的・重点的に取り組む事業

デジタル田園都市国家構想交付金事業のデジタル実装タイプ（デジタルを活用した地域の課題解決や魅力向上の実現に向け、事業立ち上げに必要なハード／ソフト 経費を支援）に採択を受けた事業。※従来のデジタル田園都市国構想推進交付金事業も含む。

地方創生推進交付金（地方の人口減少に歯止めをかけ、人口の東京一極集中を是正し、日本全体の活力を上げることを目的とする）に採択を受けた事業。

No	分野	施策名	重点	デジ田	地方創生	具体的な取組	取組概要	スケジュール			
								R4	R5	R6	R7
25	商工	地域企業のDX推進				先進的モデルの情報収集・共有と導入支援	DXに向け、企業において取り組み方がわからない、方策や手法がない、適切なスキルを持った人材が獲得できない、サポート企業が少ないという環境を解決するため、DXセミナー等の取組みを実施します。	○：一部実施、試行	⇒：達成後継続推進	⇒：達成後継続推進	⇒：達成後継続推進
26	商工					港湾物流のDX促進	今後更なる成長が期待される八代港において、情報通信技術（ICT）等を活用した八代港における港湾物流の業務効率化と生産性向上を図るため、港湾物流DXの促進による、利用者にとってより使いやすく、より効率的な港づくりを目指します。	△：調査、検討、準備	◎：実施、達成、終了		
27	商工	DX人材育成研修への参加促進				DX人材育成研修への地元企業の社員などの参加促進	既存制度の企業の人材育成支援制度を活用し、DX人材育成研修への地元企業の参加をサポートするとともに、一般社団法人八代圏域雇用促進センター及び八代圏域産業振興協議会の会員企業に向けた情報発信を行い、周知を図ります。	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進	⇒：達成後継続推進	⇒：達成後継続推進
28	商工	ワンストップポータルの構築				求人や移住に関する情報を一元化したポータルサイトの整備	八代市の移住定住情報サイト（web）の閲覧者数が2019年度には2016年度比40％減となっている状況から、複合的な情報（支援制度、空き家・求人・子育て情報）を広域的に発信できるシステムの構築及びワンストップで対応できる体制を構築します。また、webのみならず、SNSも活用し、幅広い年齢層に情報を発信します。	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進	⇒：達成後継続推進	⇒：達成後継続推進
29	商工	買い物クーポン券のデジタル化等、地域通貨のDX促進				クーポン券のデジタル化及び地域通貨として流通させる仕組みの構築	他地域や民間事業者が実施している事例等を収集しながら、経済対策が必要とされる時期に迅速かつ適切に事業実施できるよう体制を整えます。実施にあたっては、事業効果やコストの効率化をふまえ商工関係団体と連携するとともにデジタルディバイト（情報格差）に留意します。	○：一部実施、試行	○：一部実施、試行	○：一部実施、試行	○：一部実施、試行
30	商工	商業活性化に向けたECサイトの開発				買物弱者解消手法の構築	令和4年度に総務省の補助事業を活用し、郵便局・民間企業と連携して、商品の注文から配送までを行う買い物支援事業（やつしろonlineストア）の実証実験を行いました。 令和5年度以降は、実証結果等を踏まえて民間企業の独自事業として買い物支援サービスが実施されます。	◎：実施、達成、終了			
31	商工			◆		進出企業と地元企業が連携し、地元と連携し、”よそ者視点”で本市の魅力を発信	本市の農産物等の資源を活用し、都市部の人に求められる商品の開発や、ブランド化を図り、芸能人等を活用した情報発信を行うことで販路拡大に取組むものです。進出企業と地元企業が連携し、令和5年3月1日にインターネットショッピングサイト「ヤツシロヤ」が開店しました。	◎：実施、達成、終了			
32	観光	デジタル技術を活用したサイクルツーリズムの推進			●	サイクルルートマップのデジタル版の作成	既存のサイクリング用アプリへ市内のサイクリングルートを登録します。	△：調査、検討、準備	○：一部実施、試行	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進
33	観光				●	ＧＰＳアプリを活用したイベントの実施	既存のサイクリング用アプリを導入し、市内の観光資源、飲食店、宿泊施設などを周遊するイベントを実施します。	△：調査、検討、準備	○：一部実施、試行	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進
34	観光				●	レンタ（シェア）サイクルのネット予約・決済システムの構築	レンタ（シェア）サイクルを導入し、Webサイト上で予約することが可能なシステムを構築します。	△：調査、検討、準備	○：一部実施、試行	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進
35	観光	AR・VR技術を用いた体験型観光サービスの構築				回遊システムを活用したガイドツアーの実現	今後実装を行う「やつしろ観光ｄガイド」を活用して本市を訪問する観光客の周遊性を向上させていきます。	△：調査、検討、準備	○：一部実施、試行	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進
36	観光					ARによる体験型観光サービスの実現	DMOやつしろと連携し、修学旅行生などの本市を訪問する前（旅マエ）の観光客などにARツールの活用について周知を行います。	○：一部実施、試行	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進	⇒：達成後継続推進
37	観光	観光統計データのダッシュボード化				観光マーケティングデータの可視化ツールの導入	熊本県観光連盟と連携し、観光統計データのダッシュボード化に継続して取り組みます。	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進	⇒：達成後継続推進	⇒：達成後継続推進

八代市デジタル化推進基本計画アクションプラン

令和6年2月19日更新

公表用

※予算が確約されていない取組みも含まれており、内容については変更の可能性があります。

各事業の中でも短期的・重点的に取り組む事業

デジタル田園都市国家構想交付金事業のデジタル実装タイプ（デジタルを活用した地域の課題解決や魅力向上の実現に向け、事業立ち上げに必要なハード／ソフト 経費を支援）に採択を受けた事業。※従来のデジタル田園都市国構想推進交付金事業も含む。

地方創生推進交付金（地方の人口減少に歯止めをかけ、人口の東京一極集中を是正し、日本全体の活力を上げることを目的とする）に採択を受けた事業。

No	分野	施策名	重点	デジ田	地方創生	具体的な取組	取組概要	スケジュール			
								R4	R5	R6	R7
38	観光	デジタル技術を活用した観光振興策の推進		◆		「やつしろ観光ｄガイド」の導入	市HPとの連携及び機能の拡充（運営者の管理アプリ開発・導入、スタンプラリー機能の開発・実装等）に取り組みます。	○：一部実施、試行	○：一部実施、試行	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進
39	観光					日本遺産構成文化財の三次元計測によるデジタルアーカイブ化	日本遺産「八代を創造（たがや）した石工たちの軌跡 」の各構成文化財の三次元計測を実施し、めがね橋の架設技術の解明や「石工の郷」八代の魅力を伝えるガイダンス用コンテンツへの活用を図ります。	○：一部実施、試行	○：一部実施、試行	○：一部実施、試行	○：一部実施、試行
40	交通	持続可能な公共交通サービスの実現				定額利用制度の導入	乗合タクシー全路線で使える共通定期や、路線バスとの乗り継ぎも見据えた定額利用制度の導入を検討します。また、国においては、過疎地など一定区域内でのタクシー定額乗り放題のサブスクリプションサービスを解禁する方向で調整に入ったことから、その動向等も踏まえながら、本市にとって最適な組合せを検討します。そのためのステップとして、乗合タクシー定期券の料金を路線バスの1ヶ月フリーパスの金額と同額とする料金改定を、令和6年1月から実施することとしました。	△：調査、検討、準備	△：調査、検討、準備	○：一部実施、試行	◎：実施、達成、終了
41	交通					交通事業者へのキャッシュレス決済、AIによる予約・配車システム導入	タクシー事業者各社においては、キャッシュレス決済の導入をそれぞれ進められているため、導入状況の把握を引き続き行うとともに、配車システムの導入を希望する事業者に対して、国や県の事業支援策を案内することにより、事業者のシステム導入率の向上を図ります。また、乗合タクシーの利便性向上を図るため、AIを活用したオンデマンドタクシーの導入に向けた具体的な検討を行います。さらに、新八代駅からくまモンポート八代までをつなぐ、デマンド型の新たなモビリティの導入に向けた実証実験を２か年で行うこととしており、今年度はワンストップで予約・検索等ができるプラットフォームの開発を進めます。	○：一部実施、試行	○：一部実施、試行	○：一部実施、試行	○：一部実施、試行
42	交通	新たな移動ニーズへの対応				移動に活用できる資源等、人の移動に関するデータのオープンデータ化	乗合タクシーの定期便についてはオープンデータ化が完了しているため、今後は乗合タクシーの予約便についても乗降場所の位置情報を整理するとともに、各種施設情報等についてデータ整備を実施します。	○：一部実施、試行	○：一部実施、試行	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進
43	交通					予約システムを利用した自家用有償旅客運送の導入	自家用車を用いて有償で輸送を行う「自家用有償旅客運送」を令和5年1月から泉町の五家荘地域において新たに導入しており、その運行支援と利用促進を図るとともに、利用状況等を勘案しながら、予約システムの導入・活用について検討を行います。	○：一部実施、試行	○：一部実施、試行	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進
44	交通					レンタ（シェア）サイクルなどの導入	今年度から、新八代駅を拠点としたモビリティ・ハブを整備する実証実験を行うこととしており、観光部門やＤＭＯやつしろと連携し、同施設内にレンタサイクルや電動キックボードなど、多様なモビリティサービスの集約を図ります。	△：調査、検討、準備	△：調査、検討、準備	○：一部実施、試行	◎：実施、達成、終了
45	交通	物・サービスの移動による利用者ニーズへの対応				サービスを利用希望者のもとに届ける（サービスの移動）	交通事業者と、その他のサービス事業者との連携のもと、交通が不便な地域や自ら移動することが困難な方に対し、生活において必要なサービスを届けられる仕組みの構築を検討します。また、五家荘地域では、自家用有償旅客運送を活用し、貨物と旅客の輸送を一緒に行う「貨客混載事業」の実装に向けた検討を進めます。	△：調査、検討、準備	○：一部実施、試行	○：一部実施、試行	◎：実施、達成、終了
46	行政	自治体の情報システムの標準化・共通化				「ガバメントクラウド」への対応	ガバメントクラウドへ対応するため、全庁的・横断的な推進体制の整備や、全体計画の立案など、「自治体情報システムの標準化・共通化に係る手順書」等に従い、早期に取り組みます。	△：調査、検討、準備	△：調査、検討、準備	○：一部実施、試行	◎：実施、達成、終了
47	行政	マイナンバーカードの普及促進				マイナンバーカードを出退勤管理等の行政内部事務へ活用	マイナンバーカードを名札として活用するとともに出退勤管理や複合機認証など行政内部事務への活用を検討します。	○：一部実施、試行	○：一部実施、試行	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進
48	行政	テレワーク及びオンライン会議の促進				テレワーク及びオンライン会議の促進	希望する職員がいつでもテレワーク及びオンライン会議ができるよう環境整備を行うとともに、利用促進に向けた方策についても全庁的に取り組みます。	○：一部実施、試行	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進	⇒：達成後継続推進
49	行政	セキュリティ対策の徹底				セキュリティ対策の徹底	「八代市情報セキュリティポリシー」に基づく適切な情報システムの運用体制を確保するなど適切なデータの運用を図ります。	○：一部実施、試行	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進	⇒：達成後継続推進

八代市デジタル化推進基本計画アクションプラン

令和6年2月19日更新

公表用

※予算が確約されていない取組みも含まれており、内容については変更の可能性があります。

各事業の中でも短期的・重点的に取り組む事業

デジタル田園都市国家構想交付金事業のデジタル実装タイプ（デジタルを活用した地域の課題解決や魅力向上の実現に向け、事業立ち上げに必要なハード／ソフト 経費を支援）に採択を受けた事業。※従来のデジタル田園都市国構想推進交付金事業も含む。

地方創生推進交付金（地方の人口減少に歯止めをかけ、人口の東京一極集中を是正し、日本全体の活力を上げることを目的とする）に採択を受けた事業。

No	分野	施策名	重点	デジ田	地方創生	具体的な取組	取組概要	スケジュール			
								R4	R5	R6	R7
50	行政	BPRの取組の徹底				文書のペーパーレス化	「デジタル市役所の視点」及び「保存・保管スペースの確保の視点」によりデータ文書による文書ライフサイクル（電子決裁等）が可能なシステムの構築及び既存文書のデータ化に取り組みます。	△：調査、検討、準備	△：調査、検討、準備	△：調査、検討、準備	△：調査、検討、準備
51	行政					標準化システムにあわせた業務フローの抜本的見直し	自治体の情報システムの標準化・共通化にあわせ、標準化の対象となる事務においては、システム機能にあわせた業務フローの抜本的見直しを実施します。	△：調査、検討、準備	○：一部実施、試行	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進
52	行政					電子入札システムの導入（物件供給、役務、賃借等）	電子入札システム（物件供給、役務、賃借等）の普及により事業者の入札事務における負担軽減や、入札手続きの透明性の確保（情報公開）による市民サービスの向上及び入札事務の効率化を図ります。	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進	⇒：達成後継続推進	⇒：達成後継続推進
53	行政			◆		契約事務のDX推進	入札参加資格申請の作成・提出・受付の電子化等により、市と事業者双方の申請業務の負荷を軽減し、業務コストの削減に繋げます。 業者管理から契約事務の管理まで一連の契約事務にデジタル技術を活用することで、業務の効率化を図ります。	△：調査、検討、準備	○：一部実施、試行	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進
54	行政	オープンデータの推進・官民データ活用の推進				有用なデータの積極的な公開と市民サービスの利活用推進	市民ニーズや社会的ニーズが高いと想定される有用なデータの積極的な公開と市民サービスへの利活用を推進します。まずは、ホームページ掲載データから取り組むなど、着実な推進を図ります。	○：一部実施、試行	○：一部実施、試行	○：一部実施、試行	◎：実施、達成、終了
55	行政			◆		被災地等におけるインフラ復旧情報のデジタルマップ化	道路・河川等の公共インフラの復旧状況をリアルタイムでデジタルマップ化し、Webやスマートフォンにて進捗状況等を市民へ情報提供します。また、発災時には道路不通箇所、交通規制等の情報発信を行います。	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進	⇒：達成後継続推進	⇒：達成後継続推進
56	行政					熊本県下共通のデータ連携基盤の活用	熊本県においては、各自治体が持つ防災情報や観光情報といったさまざまなデータを活用できる県下共通の「データ連携基盤」を令和5年に構築し、令和6年4月から運用を開始することとしています。 　本市としても、この「データ連携基盤」を活用し、さまざまなデータを結び付けることで効率的な避難所運営や、個人に応じた観光サービスの提供など、より利便性の高い社会の実現を目指し、熊本県と協力して進めてまいります。	△：調査、検討、準備	○：一部実施、試行	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進
57	教育	生涯学習・社会教育におけるデジタル化の推進				時代の変化に応じたスキルが学べるリカレント教育の推進	「ＩＴキャリアアップ講座」や「はじめてのスマホ講座」等、市民が気軽に参加できる講座を開催することで、就労や仕事に役立てもらったり、日常生活にデジタル技術を取り入れ、より生活が向上するよう学びの場や機会の充実を図ります。	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進	⇒：達成後継続推進	⇒：達成後継続推進
58	教育					電子図書館に向けた取組	八代市立図書館では、スマホやタブレット、パソコンを通して、いつでも、どこにいても電子書籍の閲覧、貸出しができる電子図書館サービスを行っています。引き続き市民への電子図書館サービスの周知と電子書籍の充実を図ることで、多くの方々が気軽に利用してもらえる図書館づくりを進めます。また、児童生徒１人１台のタブレット端末を活用した電子書籍の閲覧・貸出しサービスについても、対象となる作品数を増やすなど内容の充実を図ってまいります。	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進	⇒：達成後継続推進	⇒：達成後継続推進
59	教育					図書館資料のアーカイブ化	市立図書館の資料で、郷土に関するものや音声データなどのうち、デジタル化の必要があるものについては引き続き電子書籍化を図ります。また、市立博物館ホームページ上で公開しているデータ等については、図書館ホームページにもリンクを貼ることで、広く市民が閲覧できるよう連携を行います。	△：調査、検討、準備	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進	⇒：達成後継続推進
60	教育					図書資料のICタグ化	図書資料のICシステムの導入により、利用者のプライバシーへの配慮や貸出手続きを容易にすることで、図書館本来の機能であるレファレンスサービスなどを充実させ、利用者のニーズにより広く応えることで、引き続き図書館サービスと市民の読書活動を推進します。	△：調査、検討、準備	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進	⇒：達成後継続推進